



令和6年3月号 北条こども園

☆今月の目標☆

- ・身近な自然に触れて春の訪れを感じる。
- ・就学や進級に期待をもち、生活や遊びを行う。
- ・友達と一緒に遊ぶことを楽しみ、充実感を味わう。

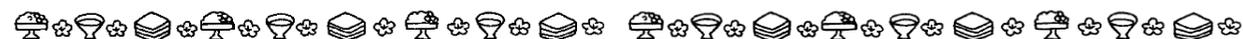
★家庭教育12か条★

3月は「家庭学習でしっかり復習」



今年度も残り1か月となりました。保護者の皆様には今年度も園運営等にご理解、ご協力を頂き、本当にありがとうございました。今年度はコロナが5類に移行したことにより、行事の人数制限をなくしたりあり方を見直したりしてきました。園児もみんなで集って活動をする楽しさを感じた年になりました。

そして、3月はそれぞれのクラスで過ごす最後の月です。北条こども園は毎年クラス替えを行いますので、今と同じメンバーで友達や先生と過ごすのは一生の中でも最後の月になると思います。一期一会の出会いそして、一日一日を大切に過ごしていきたいと思えます。



○研究主題「聞く・話す・伝え合うことを喜び子をめざして」

～自分の言葉や動作で伝える楽しさを感じるための環境と援助の工夫～

作品展を終え、体や心の成長を、作品を通じて感じていただけたのではないのでしょうか。作品一つ一つに子ども達のあふれる思いが詰まっていた。その言葉や思いをしっかり聞くことを先生たちは大事にしてきました。子ども達は自分の思いや感じたことを絵や作品で表現し、年齢に応じてですが、その表現を相手に伝える力も育ってきています。

【5歳児編 伝え合いを喜び姿とは？】

楽しい体験をともに



責任をもって
当番活動



「ここはなー…」
と説明を喜んで
しています。



伝えたい
遊び



聞いてもらえる
空間



振り返りや遊びの相談
を友達と輪になって、
思いを伝え合います。



集う遊び



文字を使
った遊び
を一緒に
楽しみま
す。

一緒に体験したことは
心にも残り、会話もた
くさん生まれます。

安心して伝え合える場を作り、繰り返していくことで、伝え合いを楽しむ姿になりました。聞く時、話す時のルールやマナーも少しずつ身につけてきて、就学間際の子どもの姿により成長を感じます。楽しい、嬉しい、悲しい、困ったので聞きたい等、年長児になると必要感を感じて伝え合います。

作品展では、研究のまとめの掲示も行いました。まだご覧になっておられない方は送迎の際にご覧ください。玄関奥の左手の壁に掲示しています。

		3月		行事予定		
日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6 おにぎり	7	8	9
	避難訓練	身体測定(3)	身体測定(4)	保育参観日 PTA 総会	身体測定(5)	
10	11	12	13 おにぎり	14	15	16
	身体測定(0.1)	誕生会(3~5)	身体測定(2) 卒園式リハーサル(4~5)	お別れ会 誕生会(0~2)	作品持ち帰り	
17	18	19	20	21	22	23
	卒園式リハーサル(3~5)	卒園式リハーサル(3~5) ピカピカデー	春分の日	卒園式リハーサル(3~5)	卒園式(5) ※後日詳細配布 3学期終業式	
24/31	25	26	27 おにぎり	28	29	30
	春季休業預かり保育(~31日)					

- * 毎日持帰り 歯ブラシ・コップ(3~5歳児)
- * 毎週水曜日 おにぎり弁当(3~5歳児)
- * 隔週金曜日 布団持ちかえり(隔週持ちかえり)
- * 月末最終日 カラー帽子、外靴、上靴持ち帰り



☆4月の主な予定☆

- ・4日(木)入園式(新入児のみ)
- ・15~26日 家庭訪問
- ・25日 PTA 総会、クラス懇談会

【お知らせとお願い】

○作品持ちかえりについて(全園児)

3/15(金)に、1年間かいたりつくったりして楽しんできた作品を、作品袋に入れて持ちかえります。子ども達の宝物を並べ、ご家庭でも小さな作品展をどうぞお楽しみください。

○個人ロッカーの物品持ちかえりについて

5歳児は3/19(火)、0~4歳児は3/22(金)に持ち帰ります。**大きめの紙袋を持たせてください。**

(預かり保育を利用される方は年度内の最終登園日)

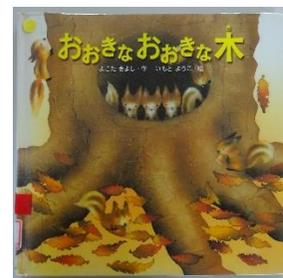
・クラス帽子…ゴムが伸びたり傷んでいるものはつけ直してください。

・着替え、外靴、布団等…きれいに洗い、サイズと記名が消えていないか確認をお願いします。

来年度の準備品にもなりますので早めに確認をしておきましょう。詳細はクラス便り等でお知らせします。



おすすめ絵本コーナー(3月)



『おおきな おおきな 木』 <作・よこた きよし 絵・いもと ようこ>

大きな大きな木がありました。その木の穴で休むと夢を見てみんな元気になります。ある日旅の若者が木の穴で休むと「大きな木になるためには、しっかり根っこをはらなければならぬ」と木は優しく語りかけてくれて、大切なことを教えてくれるのです。

大人が読んで何かを感じることが出来る絵本です。かわいらしく優しさにあふれている絵も見どころです。

<保育教諭 山本 由紀美>